

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 052	提案機関名 一般社団法人神奈川県園芸協会
要望問題名 植木苗の挿し木増殖における細霧冷房装置の利用	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 挿し木増殖は密閉トンネル内もしくはミスト装置下で実施しているが、密閉トンネルでは灌水頻度が極端に低いとため土壌水分の細かい管理や近年増加しているセルトレイ挿しが行いにくく、ミスト装置では空中湿度を保つためのミスト散布により土壌水分過多になりやすい。細霧冷房装置は湿度を保ちながらも土壌を濡らすことが無く、地上部と地下部の水分管理が行い易いと考えられる。平成10年代に東京都での導入事例があるが、当時は設置コストが高くかつ設置可能面積が小さなため県内では導入事例が見られなかった。現在では装置の性能も向上しコストも下がり、施設野菜、施設花きでの導入事例も見られる。現在普及している細霧冷房装置による植木苗の挿し木増殖方法について研究を要望する。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	従来のミスト装置より細かい水滴を噴霧する、細霧による挿し木増殖に関する試験は、東京都農林総研により実施され、好適な条件での遮光と組み合わせれば、細霧の利用により、多くの観賞樹で従来のミストより挿し木の発根率が改善されたという成果がありますので、ご活用ください。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	挿し木環境の違いが緑化植物の発根に及ぼす影響(東京農林総研 2017～2021)		